

未来へ

 紀の川市議会だより
2022. 5. 1 発行 NO.61

紀の川市議会の第1回定例会と活動をわかりやすくお伝えします。



電車デザイン：水戸岡鋭治

もっと！ずっと！
貴志川線

●CONTENTS●

（特集）議会広報特別委員会・・・	P2
令和4年第1回定例会・・・	P4
一般質問・・・	P12
追跡 あの質問、どうなったの？・・・	P15

情報の公開が議会広報の基本

#議会広報特別委員会



写真左から
坂本 佳隆、木村 芳友、阪中 晃、石井 仁、上野 宗彦、
竹村 広明(委員長)、中村 まき(副委員長)、大谷 さつき、大田 裕之

市議会の内容を みなさまへ

議会広報特別委員会の基本は情報の公開・発信であり、日々の市議会の議論や活動内容を知っていただき、透明性をはかることが最も重要です。

広報活動を行い、すべてを知っていただくことにより、市議会は強くなると私たちは考えています。情報をみなさまと共有することが紀の川市をより良くすることだと思い、私たち委員9名は議会広報活動をしています。

身近な市議会を目指して

紀の川市議会だよりは、市議会の内容や議会活動の様子を市民のみなさまに分かりやすく、親しんでいただけるようにするために発行しています。

市民のみなさまが、知りたい・見たい・読みやすいと思っただけの議会だよりを目指すため、さまざまな工夫をしながら紙面づくりに努めています。



コロナ対策を取りながらの編集作業

こんな取り組みも！

特集記事を設け、紀の川市の歴史や優れた技術や知識を持つ方、頑張っている団体や個人をシリーズ化し、取材・紹介させていただきました。

また、議会だよりの最後に掲載していた特集記事を冒頭に掲載し、表紙写真と関連づけるなど改善を重ねてきました。

みなさまがご存知の頑張っている団体や、取り上げてほしい内容などございましたら、お近くの議員や議会事務局までお知らせ下さい。

市民の声を行政に

一般質問とは、議員が行政全般にわたり、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、あるいは報告、説明を求めたりすることをいいます。

一般質問のページは、分かりやすく伝えるために見出しを記載し、写真を使用するなどの工夫を行っています。

また、過去の一般質問の内容が実現しているのかなど、進捗状況を知っていただけるよう「あの質問、どうなったの？」というページも設けています。

コンクールにて受賞

議会だより発刊時は「こんにちは議会です」というタイトルでした。市民のみなさまにもっと親近感を抱いていただきたいとの想いを込め、「未来へ」とタイトル変更を行いました。

紀の川市議会だよりは、毎日新聞社主催の、近畿市町村広報紙コ



受賞の数々

ンクールに参加し、優良賞を2回、奨励賞を3回受賞しました。また、全国広報コンクールでは佳作を受賞しました。

「あの質問、どうなったの？」のページは高評価をいただきました。

進化する議会だより

議会だよりの編集はすべて議会広報特別委員会で行っています。今後も市議会を身近に感じていただけるよう改善を重ね、より良い議会だより「未来へ」を発行出来るように頑張っています。

ホットニュース

市議会では議員一人ひとりに「SDG」が貸与されました。議事調査や、議会事務局との連絡などに活用しています。

今後、市議会でも業務改善・効率化をはかり、またSDGにもつながるペーパーレス化について努めて参ります。行政サービスのデジタル改革も進みつつあるなか、私たち市議会も大きく変わろうと改革を進めています。

(阪中・大田)



読売新聞社東京本社で校正の研修



表紙の移り変わり

市議会のインターネット配信始めます！

市議会では一般質問の様子など、インターネット配信をする準備を進めています。

具体的な時期は未定ですが、スマートフォンやパソコンから市議会の様子をご覧いただけます。

配信時期が決まり次第、改めてお知らせします。

● 第1回定例会 ●

こんなことが決まりました

定例会 会期 23日間 3月7日～3月29日
・ 一般質問 5名が登壇

定例会の議案は

市長提出議案

- ・ 人事案件 36件
- ・ 令和4年度予算 10件
- ・ 令和3年度補正予算 8件
- ・ 条例の制定・改正 6件

委員会提出議案

- ・ 意見書 1件

2件に
注目!

※議会だよりは、主な議案を抜粋して掲載しておりますので、その他の議案や結果につきましては、紀の川市議会ホームページをご覧ください。

(議案第6号) 紀の川市国民健康保険税条例等の一部改正について

1 国保税一人当たり8万円台に引き下げ

国民健康保険税額は、県が示す標準保険料率を参考に、紀の川市が決定します。令和4年度は、これまで貯めていた国保基金約7億5千万円のうち、約1億5千万円を投入し、税負担を引き下げます。

また、令和4年度から子供（未就学児）の均等割額を半額にする制度が作られました。

こんな質問が出ました

税率改正の影響は。

A

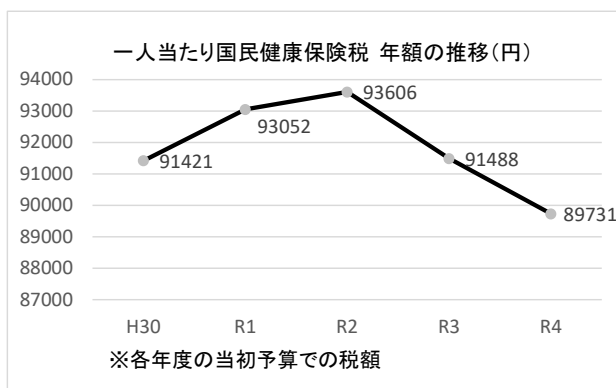
令和4年度改正予定税率は、所得割、均等割、平等割すべてを前年度税率から引き下げています。このことからすべての世帯で負担軽減が図られます。特に所得がある世帯の方の受ける恩恵が大きいことから、負担軽減の効果も大きく行き届くと考えております。

Q

未就学児の均等割の軽減には、所得制限がありますか。

A

所得制限はなく、すべての未就学児の国保被保険者の方が対象です。



2

処遇改善に向けて

◎放課後児童支援員等処遇改善臨時特例交付金 ◎保育士等処遇改善臨時特例交付金

国が進める保育士等の3%程度の賃上げにかかる交付金です。本市では私立保育園(保育士・保育園に勤める方)と学童保育所が対象となっています。

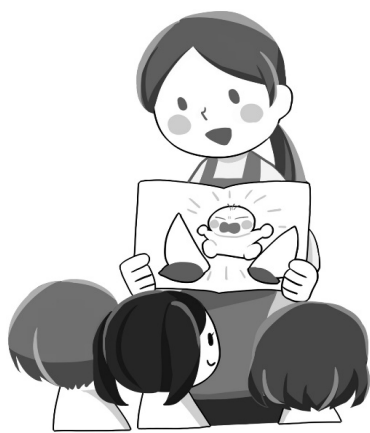
こんな質問が出ました

Q 学童保育所の対象施設数と対象人数は。

A 10施設、常勤換算で90名分です。

Q 私立保育園で処遇改善が行われたかどうかの確認は。

A 処遇改善前と処遇改善後の賃金一覧を提出してもらいます。



意見書を提出することになりました

ロシアのウクライナ侵攻を強く非難し、政府に邦人の安全確保と我が国への影響対策を求める意見書

本年2月24日、ロシアは国際社会の懸命な外交努力にも関わらず、ウクライナへの軍事侵攻を開始した。さらにその後もウクライナ全土へ激しい攻撃を続け、民間人を含め多くの犠牲者を出している。

このような力による一方的な現状変更は、ウクライナの主権と領土を侵害する明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがす行為として断じて容認できない暴挙である。

また、ロシアのプーチン大統領は今回の軍事侵攻に際し核兵器の使用を示唆するような発言は、唯一の被爆国である日本人として到底受け入れられるものではなく、更に、「非核・平和のまち 紀の川市」を宣言した本市議会としては、看過することはできない。

よって、本市議会は国に対し、国際社会と緊密に連携し、速やかな国際社会の平和の実現を図るよう努めるとともに、ウクライナ・ロシア両国に在留する邦人の安全確保及び我が国への影響対策に万全を尽くすよう強く求めるものである。

(提出先) 内閣総理大臣 外務大臣 衆議院議長 参議院議長

【全会一致】

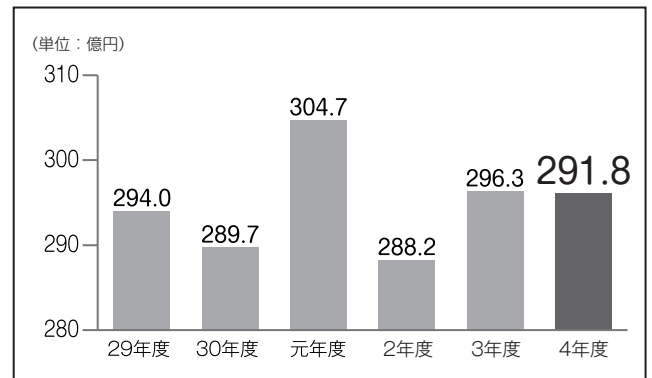
まずは骨格予算

市長選挙が2月末に行われたため、令和4年度の当初予算は「骨格予算」として上程されました。「骨格予算」としつつも、継続性の必要な取り組みや、計画などに基づき進展が必要な取り組みは新規事業でも予算計上されました。岸本新市長の政策を盛り込んだ「肉付け予算」は、今後、補正予算として提出されます。

当初予算額の比較

会 計	令和4年度	比較（対3年度比）
一般会計	291億8,000万円	△1.5%
特別会計	169億2,010万円	2.6%
公営企業会計	54億4,526万7千円	1.3%
合 計	515億4,536万7千円	0.1%

一般会計当初予算額の推移



A

本来、紀の川市に入るはずだった市税としては、令和3年度は約5000万円です。その75%の3750万円が普通交付税の算入基礎となります。

Q

紀の川市民が他の自治体に寄付することで、本来入るはずだった市民税額がいくら減ることを見込んでいますか。また、減った分から交付税で入ってくるのはいくらになりますか。

こんな質問が出ました

Pick up 1

好調！ふるさと納税

◎ふるさとまちづくり寄附金事業

(歳入10億円)
(歳出5億1748万1千円)

市内返礼品取扱事業者の収益拡大につながるため、取り組みをさらに強化します。また、市内事業者と連携をはかり、新たな返礼品の発掘と効果的なPRを実施します。

<ふるさと納税寄附額の推移>

※令和3年度は12月末時点

寄附額は年々増加！



Pick up 2

ごみ出しの負担軽減

◎ふれあい収集（794万6千円）

日常のごみ出しが困難な高齢者や障害者を対象に、職員が玄関先までごみを戸別に収集するため訪問し、声かけを行い、安否確認を行います。

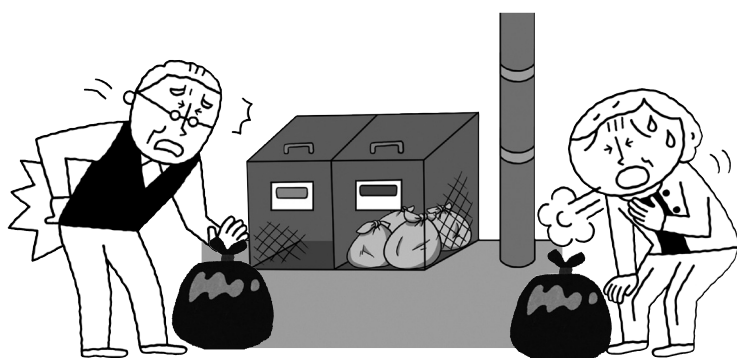
こんな質問が出ました

Q 収集を行う職員体制は。

A 2名1班体制で行います。

Q 収集の頻度や種類、回数は。

A 1週間に1回、燃やすごみ・資源ごみを同時に収集します。



Pick up 3

新規就農者を手厚くサポート

◎新規就農者受入体制整備委託料（799万2千円）

本市の主要産業である農業を中心とする地域経済の活性化をはかるため、JAをはじめとする関係団体等と連携し、担い手となる新規就農者の育成・確保を進めます。

こんな質問が出ました

Q 研修の受講人数は。

A 一期生として、令和3年度で募集をし、当初14名の応募がありました。最終的には夫婦1組、個人3名の合計5名でスタートします。

Q 受講の品目はイチゴだけですか。

A 紀の川市の事業としてはイチゴだけです。

Q 資金サポートはいくらですか。

A 国・県の支援制度を活用し、1人につき180万円を支給します。
（国150万円・県30万円）



アグリカレッジでチャレンジ

Pick up 4

ため池の危険を解消

- ◎ため池の機能廃止（4824万2千円）
- ◎ため池の防災強化（5370万4千円）
- ◎ため池修理の実施（2818万9千円）

市内に多数あるため池を3つの事業によって安全な状態を維持できるように進め、地域住民の安全確保の確立をめざします。

こんな質問が出ました

Q 機能廃止ため池の跡地の有効利用は。

A 有効利用というよりもため池に水をためないという処置で、水路を設けて流していくのが主流になっています。

Q 機能廃止ため池周辺の生態系に変化は。

A ため池改修するときに事前に生き物調査はされています。そういう生物の生態系が変わったという報告は受けていません。



機能廃止予定の下鞆あびわの池

Pick up 5

健康の拠点づくり

- ◎市民公園管理運営委託料（9900万円）

紀の川市民公園の管理・運営に指定管理者制度を導入し、市民のスポーツ・健康づくりの拠点となる「スポーツパーク」づくりを進め、より質の高い市民サービスを提供します。

こんな質問が出ました

Q 施設を民間企業に全面委託するメリットは。

A 民間のノウハウを活用することによって市民体育館の稼働率をあげ、1人でも多くの方にスポーツをするきっかけを作ると共に、スポーツをする人が増えることにより健康づくりにつながると考えます。

Q 自主事業は有料ですか。

A 有料です。今までも体操教室など開催していましたが、それらも有料でした。それと同様です。



ミズノが運営する市民公園

Pick up 6

必要な情報を必要な方へ

◎戸別受信機の貸出し（657万8千円）

防災情報の入手が困難で、視覚や聴覚に障害がある要支援者を対象に、防災行政無線を自宅で受信することができる戸別受信機を貸出します。

こんな質問が出ました

Q 本年度の貸出し台数は。

A 視覚、聴覚に障害がある要支援者を対象に200台を予定しています。

Q どのような受信システムですか。

A 視覚障害者は通常のラジオ型、聴覚障害者は災害情報をテロップで流すディスプレイ型になっています。



貸出し予定の受信機

Pick up 7

ネット環境の整備

◎Wi-Fi設備工事・通信費（388万6千円）

粉河ふるさとセンター大・小ホールと、各地区公民館にWi-Fi設備を整備します。WEB会議がスムーズにできるようになることで市民団体の活動をサポートします。また、公民館来館者へのサービス向上につなげます。

こんな質問が出ました

Q いつから使えるようになりますか。

A 各地区公民館については簡易的な機器の設置になるので、5月の連休以降のできるだけ早い時期に設置し使用できるようにしたいと考えています。

粉河ふるさとセンターについては設備工事が必要になるので、令和5年度から使えるようになる見込みです。



粉河ふるさとセンター

Pick up
8

冠水の危険を察知

◎道路冠水情報の発信（2500万円）

豪雨時に道路が冠水する恐れがあるエリアに、水位センサーを設置し、危険水位に達した場合に赤色灯を点灯させる仕組みを新たに構築しました。市民向けにインターネット上で冠水状況（水位）を確認できる仕組みを合わせて提供する予定です。

△設置予定箇所▽

桃山町調月（2ヶ所）
貴志川町前田（1ヶ所）
貴志川町丸栖（2ヶ所）

こんな質問が出ました

Q 情報の伝達手段は。

A 水位センサーから道路河川課あるいは危機管理課の職員にメールが届きます。

Q 費用の内訳は。

A 約200万円のセンサーが5基、クラウドが1500万円になっています。回転灯や無線用の送受信機の費用も含まれています。



平成29年度 冠水した丸栖地区

Pick up
9

合併特例債より有利な起債

◎過疎対策事業債（9億6120万円）

「紀の川市過疎地域持続的発展計画」に基づく事業の財源に過疎対策事業債を充てることができるのであります。事業費の100%を起債でき、そのうち70%が交付税算入されるため、合併特例債よりも有利な起債となります。（対象エリアは粉河、那賀、桃山）

こんな質問が出ました

Q 過疎債をどのように活用するのですか。

A ハード事業では、下水道事業の出資金、生涯学習施設の管理運営費、市道等の改良事業、橋りょう維持修繕事業、小学校施設の長寿命化事業などで9億20万円、19事業に充当します。

ソフト事業では、若者定住促進の住宅取得奨励事業、感染症対策事業、学校図書館の教育推進事業、遠距離通学対策事業の4事業で、令和4年度の限度額は6100万円となっています。



遠距離通学用のバス

一般会計予算案に対する 討 論



反対の 主な理由

国は率先して看護・介護・保育・幼児教育の分野において給与の引き上げのための予算化をしている。しかし、公立保育所の保育士については市は「民間保育所との格差があるので賃上げしにくい」と説明し、私立保育園・学童保育のみ予算化したことには賛同できない。

専門職員の必要性が求められるなか、職員を削減し、指定管理や外部委託を進めることは行政としての責任放棄ではないか。



賛成の 主な理由

骨格予算として編成されているが、継続性が必要な取り組みや進展が必要な取り組みは、新規・拡充事業でも計上し、市政運営に空白を作らないよう配慮されている。

今後も財源の確保と歳出の削減に努めつつ、市民のための行政運営に取り組むことを要望する。

後期高齢者医療特別会計予算案に対する

討 論

反対の主な理由

10月から一定の所得の被保険者に2割負担を求めている。医療費の負担が2倍になることは受診抑制を引き起こし、命に係わる問題になる。世代間の負担の公平性を実現するものではない。

賛成の主な理由

脳ドックの助成対象者を増加し、高齢者の健康保持に資する予算となっている。対象者への親切・丁寧な対応と医療費抑制に向けたさらなる取り組み、健全運営への一層の努力を要望する。

議案に対する議員の賛否一覧(賛否が分かれたものを掲載しています)

案 件 名	結 果	木村 芳友 (わ)	大田 裕之 (わ)	坂本 佳隆 (わ)	上野 宗彦 (清)	門 眞一郎 (共)	船木 孝明 (わ)	並松 八重 (公)	石井 仁 (共)	中村 まき (共)	仲谷 妙子 (清)	阪中 晃 (わ)	村垣 正造 (清)	堂脇 光弘 (清)	室谷 伊則 (公)	川原 一泰 (清)	高田 英亮 (わ)	杉原 勲 (わ)	竹村 広明 (清)	大谷 さつき (公)	櫻本 喜之 (わ)
議案第 7 号 令和3年度紀の川市一般会計補正予算(第10号)について	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 15 号 令和4年度紀の川市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 19 号 令和4年度紀の川市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

【○・・・賛成 ×・・・反対 —・・・議長 欠・・・欠席 退・・・退席】

※議長は採決に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」があります。

※(わ)・・・わかばクラブ (清)・・・清流会 (公)・・・公明党 (共)・・・日本共産党



いっぱん質問

一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、事業の執行状況や政策方針などについて質問することで、政策の見直しや提言なども行います。

中村 まき 議員（12ページ）

◎見えにくいところへの必要な支援の充実

石井 仁 議員（13ページ）

◎一番子育てしやすいまちをめざして

門 眞一郎 議員（13ページ）

◎市道の維持修繕、改良の現状と今後

並松 八重 議員（14ページ）

◎水道未普及地域における今後のビジョンと対応策は

高田 英亮 議員（14ページ）

◎紀の川市の新しいステージに向けて

※ ◎の質問の概要を掲載しています。

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので議会事務局議事調査課までお問い合わせください。（TEL 0736-77-0860）

Q

引きこもりという見えにくいところ
に支援を必要とする方が増えている。80代の親が50代の子の生活を支えるという「8050問題」がある。必ずしも不登校の延長だけ
でなく、社会から自分を守るため、命や尊厳を守るために引きこもらざるを得なくなっている人たちもいる。甘えや怠けではなく、誰でもひきこもりの状態になり得る状況がある。

A

支援を受けている人数は。

令和3年度の相談件数は延べ507件、居場所の実利用者11名、何かの支援でつながっている実人数は37名。

Q

内閣府の調査（2015年、2018年）によると、ひきこもり状態にある方は15～39歳までで54.1万人、40～64歳までで63.1万人いると推計されている。本市に当てはめると約540人いると推計される。今後どのような支援が必要と考えるか。

A

相談の複雑化や長期にわたる支援が必要な場合が多いため、人材育成と確保、ならびに相談窓口の周知が必要になると考える。

A Q

支援体制を充実していく考えは。国においても支援体制の整備、拡充に向け取り組んでいる。状況を見ながら、必要に応じて支援体制の強化、拡充などに対応していきたい。

見えないからこそ把握と支援を



中村 まき



「子育て支援のまち」宣言を

Q 学校給食の無償化は、令和4年度から5年間の時限措置となつている。継続施策にできないか。

A 5年間という期限で事業効果などの検証は必要であると考えている。

安心して子育てできる紀の川市をめざし、検証結果や財源状況など勘案しながら、継続的に実施していけたらと考えている。

Q 市の行う子育て支援施策を、単一メニューの列挙にとどめず、子育て支援のまちであることを明確に宣言し、そのための施策として位置付けては。

本市は、4つの宣言、暴力追放、非核・平和、生涯学習、食育のまち宣言をしているが、そこに加えて「子育て支援のまち 紀の川市」宣言をできないか。宣言をする、と自ずと自らに縛りをかけることになる。そこまでやってこそ、本市を選ぼう、長く住んでいこうと思ってもらえる根拠が出てくるのでは。



A 本市は、「若い世代が希望を持つて結婚・出産・子育てができるまち」をめざすために、「子育て環境・体制の整備、支援」を基本施策に位置付けている。

今後も庁内が一丸となって、それぞれの部署において市の重要課題として、人口減少抑制に結びつく取り組みを推進していきたい。

「安心して子育てのできるまちであることを広く宣言すること」については、今後の検討事項とさせていただきます。



石井 仁

市道修繕のスピードアップを

Q 市道の維持修繕についても、改良事業も、区長からの要望に対して2割から3割程度しか実施できていないが、その要因は。

A 要望に対して、利用度や危険性などを見極めて、少しでも修繕件数、改良工事件数を増やすよう進めているが、予算の関係・人員の関係もあり、現状の実施率になっている。

Q 市道の点検、状況の把握の方法は。

A 市道の総延長は約1047kmあり、うち2車線の幹線市道約110kmは2名1班で月2回パトロールを実施している。それ以外に、地元区長や住民、郵便局員などからの通報、道路河川課職員による見回り、LINEによる通報などで把握している。LINEでの通報は月平均4件ほどあり、修繕結果は市のホームページに公表している。

Q 市長の所信表明の中で「市道の

修繕工事予算の倍増」と言われたが、今後の市道整備について市長の思いは。

A 生活道路は市民が生活する上で、安全・安心に通らなければならぬ道であるため、修繕工事の予算を倍増し、スピード感をもって早く改善できるよう積極的に押し進めたい。1年で改善できるとは思っていない。来年以降の予算についても、要望に応えられるよう引き続き実施したいが、実施率、財政面を見極めながら予算措置をしたい。



要修理箇所



門 眞一郎

どこに住んでも同じ安全安心な 水が飲める環境整備を



並松 八重

Q

安全安心な水道水の供給は、市民の命と暮らしを守る基本中の基本である。水道事業は水道利用者が払う水道料金で費用を賄っている独立採算制である。人口減少や節水機器の普及で料金収入の減少と、設備の老朽化による維持管理コストの増大で、今後非常に厳しい時期を迎えると予測される。

また、水道未普及地域においても施設の老朽化や水質の悪化、水量の変化など維持管理が困難な状況になっている。水道サービスの公平な提供をめざし、水道未普及地域解消に向けたビジョンと対応策は。

A

健全で効率的な水道事業経営をめざして、市民が良質の水道水を安定して利用できるよう、水道施設の維持管理にむけた取り組みを最大に行っている。水道未普及地域解消には布設費用が高額になるなどの課題もあり、事業規模や給水開始後の経営にわたる多面的な検討が必要である。



粉河浄水場

Q

市民の不平等感を無くし、移住定住を進め、二世帯、三世帯と住み続けられるよう、水道未普及地域解消は本市の未来への投資であると捉え、積極的に進めていくべきでは。

A

水道未普及地域解消については重要な課題である。費用対効果として加入率も重要で、地域受益者との合意形成をはかることも必要であり、中長期的な計画になる。今後財源も含めて、地域に適した整備方策について、調査・検討を進めていきたい。

紀の川市を新たなステージへ



高田 英亮

Q

中村前市長の思いを受け継ぎ、これからの市政を担っていくことになるが、前市長の政策だけでなく、岸本市長自身の新たな政策も表明された。その中には、前市長が取り組んできた「京奈和関空連絡道路の早期実現」や「住環境の整備」など多くの課題がある。これらの課題を解決しつつ、紀の川市を新たなステージへ舵を切っていくとの力強い決意を表明されたが、どのように解決、実現していくのか。

A

今期の政策目標として「躍動する紀の川市に、若者から高齢者まで安心して暮らせるふるさと」をスローガンに掲げ、5つの柱を中心に、中村前市長が特に重点に掲げた施策を受け継いで今後も推進していく。

新型コロナウイルス感染症や地震などの災害が危惧されるなかで、市民のみなさんが安心して暮らせるよう、より一層対策を強化し、人口減少対策として、住み続けた

い環境づくりと教育環境の充実をはかる。

また、本市の「農業」について、基盤整備と新規就農者の確保と育成、加工商品開発を促進する。そして、快適な生活を営む上で、住環境整備や公共サービスの充実、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指す。さらに、中長期的な施策として、「農学部」など高等教育機関の誘致に取り組み、また京奈和関空連絡道路の実現に向け、今後、専門的部署の設置を検討していく。



所信表明を行う岸本市長

追跡

ちょっとおしえて!

あの質問、どうなったの?

胃がんゼロにむけて
中学3年生のピロリ菌検査を

胃・十二指腸潰瘍や胃がんなどの主な原因であるピロリ菌の検査を、中学3年生の希望者に対して学校検尿を使って検査しては。

答弁

研究・検討の結果、陽性になった場合、中学3年生のピロリ菌検査を勧めることは、治療の段階において安全に実施できるかという不安要素がある。全国的な先進事例の動向を注視しつつ、必要に応じて県や医師会への働きも行っていく。

その後

進展なし!

治療の段階において安全に実施できるかの不安要素があるため、実施に向けた検討は行っていない。



次回6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
			6/1	2	3	4
					本会議 (開会)	
5	6	7	8	9	10	11
			本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問・ 質疑・付託) 予算決算 常任委員会	
12	13	14	15	16	17	18
		予算決算 (総務文教 分科会) ・総務文教 常任委員会	予算決算 (厚生分科会) ・厚生 常任委員会	予算決算 (産業建設 分科会) ・産業建設 常任委員会		
19	20	21	22	23	24	25
				予算決算 常任委員会		
26	27	28	29	30		
	本会議 (開会)					

※午前9時30分開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

傍聴に関するお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴者の座席数を減らしています。

傍聴される方は、マスクの着用および手指消毒をお願いします。また、熱のある方、体調のすぐれない方の傍聴はお控えください。

大変ご迷惑をおかけしますが、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



電話でのお問い合わせもお受けしています。

●お問い合わせ … 議会事務局
電話番号：0736-77-0860



編集後記

3月議会は、岸本新市長から提案される初めての議案を審査しました。数々の質疑の中から「ここはお知らせしたい」という内容を紙面に載せています。校正のなかで、今号でもいくつかの準備記事がボツになり、ボツを免れ、繰り上げ採用された記事もあります。

「特集」は議会広報特別委員会。編集作業では、はからずも「議会とは何か」「その広報とは」といった根源的な議論が交わされました。（実は、市議会の6つの委員会のうち、最も多く開かれるのが、議会広報特別委員会です。）今回もみんなが悪戦苦闘して作りました。どうぞ、お手に取ってお読みください。紙面へのご意見、ご感想をいただけると嬉しいです。

（石井 仁）

